

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農薬の適正使用推進事業			会計	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課		
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志		

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	農薬による健康被害を受けないようにする。
事業内容	市民に農薬の適正な使用と近隣住民等への配慮について理解してもらうため、リーフレットをホームページ等に掲載し周知する。			
事業開始から現在までの状況変化	家庭菜園が盛んになり、一般家庭においても農薬を所持・使用するようになった。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		農薬による健康被害事故の発生件数	0	0	0	件	
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	千葉県が作成した啓発リーフレットを市ホームページに掲載している。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		376,500	343,250	335,600			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)		0.05	0.05	0.05			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	継続して農薬の適正使用について周知を図る。
今年度(H29)に実施した取組	市ホームページに農薬使用における注意事項を掲載した。

取組の課題	農作物生産者と住民との認識の違いに大差があるため、継続して適性使用の周知を図る。
今後の改善計画	・ホームページ内において農薬の使用や管理に係る啓発情報を掲載する。 ・市民農園利用者に対して農薬の適正使用についての啓発を行う。